

## 土木図書館利用の手びきと図書整備の現況

### 土木図書館運営委員会

#### 1. まえがき

すでに会員の皆さまもご承知のように、土木学会創立50周年を記念し会員ならびに関係各位の絶大なご支援のもとに学会本部（東京・四谷）に隣接して建設を進めてきた土木図書館は、予定どおり昭和39年11月24日、学会創立50周年記念日に竣工し、昭和40年1月6日から図書館閲覧業務を開始するに至りました。土木図書館運営委員会は、この土木図書館に備えつけるべき図書、文献、資料等の購入、収集、整備、保存、活用等図書館の運営に関する事項一切を審議することを目的として昭和39年2月に学会内に常置され、以来土木図書館の基本的なあり方について慎重な討議を重ね、土木図書館の存在を意義あらしめる運営の基本方針を決定確認したのち、この基本線にもとづいて図書館の整備、運営に関する具体的細目について順次審議を進め、図書館竣工に先立つ昭和39年9月、土木図書館整備計画を決定しました。

この委員会が導いた土木図書館の基本的なあり方、ならびに図書整備計画については、さきに委員会報告として土木学会誌49巻10号（昭和39年10月号）に発表しましたが、その後この整備計画にもとづいて図書・雑誌の購入・整理、資料の収集、什器類の購入等は着々と進められ、昭和40年1月の開館時にはいまだ十分会員の期待にこたえられなかった土木図書館も、まる一年を経過した現在では当初の整備計画に対し図書・雑誌の購入はほぼ100%の達成率に近づき、充実した姿で会員の皆さまのご利用をお待ちしている次第です。

当委員会は整備計画立案後も定期的に委員会、幹事会をひらき、計画の迅速な遂行を積極的に推進するとともに、図書館業務の円滑な運営、各種資料の収集、新刊図書の購入計画、フィルムライブラリー（16mmトーキーが主体）の整備計画の立案実施等の定常的な図書館整備作業に努力を続けております。

今回の委員会報告では、土木図書館利用の手びきとして、図書館関係の規定を紹介するとともに、図書館整備の現況をお知らせしようと思っております。

#### 2. 土木図書館の利用について

まず土木学会会員の皆さんに図書館を気軽に利用していただくために、土木図書館に関する規則をめき書きしながら説明を加えることにします。

土木図書館に関する規則には、「土木図書館規程」と「利用規定」とがあって、前者は図書館の運営上の事項を定め、後者は図書館利用についての細目を定めたものであります。

まず、土木図書館には館長、副館長がいて図書館を代表し館務の総括を行なっていますが、館長は土木学会会長（規程第3条）、副館長は専務理事（同第4条）がその任に当ることになっています。また日常の図書館業務を遂行処理するために現在司書1名、司書補1名がおります。

開館日は、日曜、国の祝日、年末年始（12月25日から1月5日まで）をのぞく毎日で（規程第6条）、開館時間は午前9時30分から午後4時30分までとなっています（利用規定第8条）。

図書の閲覧は学会発行の閲覧証を所持する方に限りませんが、特に館長の許可を得た者、たとえば学会の委員会用務で図書の閲覧が必要な方や、職務上の必要によって閲覧する学会職員は閲覧証がなくても入館できるようになっています（規程第7条、利用規定第2条2項）。

はじめて図書館を利用される会員の方は、まず受付（オープン部閲覧室入口にあります）において所定の申請書に必要な事項を記入してご提出いただければ、ただちに会員閲覧証（有効期間 発行の日から1年間）を作成してお渡しいたします（利用規程第2条）。特別会員の方には各級別の指定人員を閲覧証に記入しますから、その人数までは一枚の閲覧証で同時に入館できます。会員以外の方からは利用料をいただくことになっており（規程第8条）、1日100円の利用料を納められた方には当日限り有効の当日閲覧証を、また年間2400円の利用料を納められた方には1年間有効の年間閲覧証を交付します（利用規定第3条、第4条）。

こうして閲覧証の交付を受けたのち入館が許されま

す。閲覧証は退館時に受付でおあずかりすることになっており（利用規程第5条2項）、2度目以後は来館の際受付でお申し出下されれば、おあずかりしてある閲覧証をお渡しいたします。

図書室はオープンシステムの部分とクローズドシステムの部分とに分かれており、オープン部の書架には新着内外雑誌、新刊図書、土木学会誌全巻および辞書、事典、ハンドブック、年鑑などが配列してあります。閲覧証を所持している方はオープン部のこれらの図書はすべて自由に閲覧室内で閲覧することができます。

クローズド部（書庫）には、雑誌バックナンバー合本、和洋図書、資料類が収納してあり、ここへは担当職員以外の立入りは禁止してあります。これらの図書を閲覧するときは、閲覧証と申込票を貸出し係（受付と同じ場所）に提出し、これと引換えに図書の貸出しを受け、閲覧終了後図書を貸出し係に返納すれば閲覧証をお返しいたします（利用規定第5条）。

図書の閲覧は閲覧室内に限り、図書の館外持出しは一切禁止されています（利用規定第6条）。

図書の複写を希望される方は所定の用紙に実費をそえて申し込まれれば（利用規定第9条）、学会指定の業者に委託して、後日でき次第お手もとへおとどけいたします。会員が複写装置を持参された場合に限り館内で複写を許可することになっており、そのための照明設備なども用意してありますので、その旨受付へお申し出下されれば、便宜をおはかりいたします。

### 3. 図書整備の現況

従来土木学会の図書室に所蔵されていた図書・資料・雑誌合本はおおよそ2900点でありましたが、大部分が寄贈によるものか、文献調査委員会やその他の各種研究委員会の調査活動の必要から購入したもので、一貫した図書整備計画にもとづくものではありませんでした。土木図書館の設立を期して、当委員会では土木図書館の基本的なあり方に立脚して図書整備計画を立案し、この計画にもとづいて昭和39年10月以降図書の購入、整備を続けてまいりました。

表一 土木図書館蔵書点数 (昭和41年2月現在)

種 別	和 書	洋 書
百 科 辞 典	5 点	3 点
辞 書	48 点	21 点
ハ ン ド ブ ッ ク 類	72 点	24 点
国 際 会 議 論 文 集	—	61 点
単 行 本	2658 点	714 点
雑誌バックナンバー合本	996冊(156種)	841冊(106種)
新 刊 雑 誌	155 種	75 種
資 料 類	166 種	

かくして昭和41年2月現在における土木図書館蔵書点数は約6200点に達し、その種別内訳は表一に示すとおりであります。創立50周年記念事業の募金を対象とせる整備計画に関しては、図書83%、雑誌（バックナンバーをふくむ）98%がすでに整備を完了いたしました。

以下、各種別ごとに整備の現況を報告します。

#### (1) 和書の整備

従来学会図書室には和書約2000点が所蔵されておりましたが、大部分が著者の寄贈による土木関係単行本および古い資料類で、土木に関する重要な図書は相当数欠けており、土木以外の分野の図書はきわめてわずかでありました。今回の整備計画により、土木工学に関する著書はほとんど網羅することとして約370点、科学一般、数学、物理、工学一般、建築、機械、電気等に関する著書のうち、著名なものおよび土木技術者の利用に供して便なるもの約190点、叢書、便覧、事典、年鑑、講座、法規、規格等約55点、高校生を対象とする図書、参考書類約65点、計680点が購入され、その大部分がすでに整備されました。

#### (2) 国内雑誌の整備

土木および関連分野の雑誌（学協会誌、大学、研究機関の定期刊行物）約155点が従来より学会に寄贈されており、それらのバックナンバーの合本整理はほぼ完了し、閲覧に供しています。加えて、必要な国内雑誌の新規購入も検討中です。

#### (3) 外国雑誌の整備

従来学会で購入していた外国雑誌26点、寄贈を受けていたもの19点に加えて、土木工学の各分野ごとに英米独仏の代表的な雑誌30点を新たに購入し、総数75点を閲覧に供しています。国別の数はアメリカ27点、イギリス14点、フランス9点、西ドイツ11点、その他（イタリア、ソ連、ポーランド、東ドイツ、オーストリア、インド、スイス等で、大部分が寄贈）14点であります。さらに、バックナンバーについては、重要な雑誌14点は1954年にさかのぼって10年間の全巻を収集、35点については入手可能な範囲でバックナンバーをそろえることとし、その購入、合本整理はほとんど計画の100%に達しています。

#### (4) 国際会議論文集の整備

本図書館を特色づける蔵書の一つとして、国際会議の論文集を過去から将来まで整備する方針のもとに、土木の各分野に係る32国際会議（表二）について既刊

表-2 国際会議論文集整備状況

No.	国際会議名	整備済みの論文集の年度 (回)	購入手つづき中のもの	入手不可能のもの
1	International Association for Hydraulic Research (I.A.H.R.) 国際水理学会	1939(1st), 1935, 1948(2nd), 1949(3rd), 1951(4th), 1953(5th), 1955(6th), 1961(9th)	1959(8th), 1963(10th), 1965(11th)	1957(7th)
2	I.A.H.R., Symposium on Cavitation & Hydraulic Machinery 同上, キャビテーションおよび水力機械シンポジウム	1962	1960	
3	Conference on Coastal Engineering 国際海岸工学会議	1951(2nd), 1952(3rd), 1953(4th), 1954(5th)	1957(6th), 1960(7th), 1962(8th), 1964(9th)	
4	International Congress on Irrigation and Drainage 国際かんがい排水会議	1963(5th)	1957(3rd)	1951(1st), 1954(2rd), 1960(4th)
5	Permanent International Association of Navigation Congress (PIANC) 国際航路会議	1957(19th), 1961(20th)		
6	International Harbour Congress 国際港湾会議	1954(2nd), 1958(3rd)	1964(4th)	1949(1st)
7	International Association of Scientific Hydrology 国際陸水学会議		1948, 1954, 1956, 1957, 1960, 1963	
8	International Congress on Large Dams 国際ダム会議	1948(3rd), 1955(5th), 1958(6th), 1961(7th), 1964(8th)		1933(1st), 1936(2nd), 1951(4th)
9	International Water Supply Congress 国際水道会議	1949(1st), 1952(2nd), 1955(3rd), 1961(5th)	1964(6th)	1958(4th)
10	International Conference on Water Pollution Research 国際水質汚濁研究会議	1962(1st), 1964(2nd)		
11	International Congress of Sanitary Engineering 汎米衛生工学会議			
12	International Conference on Waste Disposal in the Marine Environment 海洋における放射性廃棄物に関する国際会議		1960(1st)	
13	International Conference on Peacefull Uses of Atomic Energy 原子力平和利用国際会議	1955, 1958	1964	
14	International Congress of Applied Mechanics 国際応用力学学会議	1960(10th)		1940(6th), 1948(7th), 1952(8th), 1956(9th)
15	International Union of Theoretical and Applied Mechanics 理論および応用力学国際合同会議	1960		
16	Symposium on Rock Mechanics 岩盤力学シンポジウム			1961, 1963
17	International Conference on State of Stress in the Earth's Crust 地殻の応力状態に関する国際会議			1963
18	World Conference on Earthquake Engineering 国際地震工学会議	1956(1st), 1960(2nd), 1965(3rd)		
19	International Conference on Soil Mechanics and Foundation Engineering 国際土質基礎工学会議	1948(2rd), 1953(3rd), 1957(4th), 1961(5th)		1936(1st)
20	Asian Regional Conference on Soil Mechanics and Foundation Engineering 土質基礎工学アジア地域会議	1963(2nd)		
21	European Regional Conference on Soil Mechanics and Foundation Engineering 土質基礎工学ヨーロッパ地域会議			1963
22	International Cley Conference 国際粘土会議	1963		

23	International Conference on the Structural Design of the Asphalt Pavement アスファルト舗装構造工学国際会議		1962(1st)	
24	Permanent International Association of Road Congress 常設国際道路会議	1951(9th), 1955(10th), 1960(11th)		
25	International Road Federation 国際道路連盟太平洋地域会議			1961(1st)
26	International Association for Bridge and Structural Engineering 国際橋梁構造会議	1932(1st), 1936(2nd), 1948(3rd), 1952(4th), 1956(5th), 1960(6th), 1964(7th)		
27	International Congress on Nondestructive Testing 国際非破壊試験会議		1963(4th)	
28	International Symposium on Stress Wave Propagation in Materials 材料の応力伝播に関する国際会議	1959		
29	Federation International de la Prestreinte プレストレスト コンクリート国際会議	1953(1st), 1955(2nd), 1958(3rd), 1962(4th)		
30	World Conference on Prestressed Concrete プレストレスト コンクリート世界会議			
31	International Congress of the Precast Concrete Industry プレキャスト コンクリート国際会議			
32	International Symposium on the Chemistry of Cement 国際セメント化学シンポジウム	1918(1st), 1938(2nd), 1952(3rd), 1960(4th)		

の論文集を収集する計画を立てましたが、達成率は75%で、調査の十分およばないもの、入手不可能と判明したものもかなりある現状です。表-2をご参照の上、調査および入手方について、会員各位のご協力を特におねがいいたしたく存じます。

#### (5) 洋書の整備

土木図書館の開館に当っては、かたよりのない学問体系的縮小版の形をととのえることを目標にして、土木工学の23の分野にわたる世界の代表的な著書228点を整備する計画をたて、現在その75%におよぶ170点が備えつけられました。

一方 百科辞典としては、Encyclopedia Britanica 24巻、American Educator Encyclopedia 14巻、McGraw Hill Encyclopedia of Science and Technology 15巻の3点、辞書としては各種外国語の辞書および土木ならびに工学関係の用語術語辞典28点、リファレンス・ブックとしては土木の各分野に関するハンドブック17点のほか、ASTM Standard, Engineering Index, Atlas of the World など14点を整備する計画をたて、現在そのほとんどの購入を終り、オープン部に備えて自由に閲覧に供しています。

#### (6) 資料の整備

図書、雑誌の購入整備と併行して、資料の収集は、本

図書館を特色づける重要な作業の一つとして特に重点を置いてその整備に努力を続けております。ここで資料と申しますのは、大学、研究機関、官公庁、各種企業体の非公開の調査資料、報告書、計画書、工事誌、設計図書等でありまして、これらの個人では入手や閲覧の困難な数多くの貴重な資料を収集整理して、一般の閲覧に供するとともに、長く保存することを意図しております。しかしこれらの資料を網羅収集するためには、関係各機関の協力なくしてはその目的を達することができず、すでに再度にわたりおよそ200におよぶ土木関係各事業所に資料寄贈方の依頼を行ない、現在続々と貴重な資料が寄せられつつありますが、会員相互の利益のために、この点に関し会員各位の特別なご援助をお願いいたします。

#### (7) フィルム ライブラリーの整備

土木図書館整備計画の一環として、当委員会ではフィルム ライブラリーの整備計画をたて、建設工事の記録映画や土木工学に関する教育映画のフィルムの収集を進めています。すでに創立50周年記念国土開発映画コンクールの入選作である「銀座の地下を掘る」、「羽田海底トンネル」、「横山ダム建設記録」など10本のカラーフィルムを所蔵しているほか、都立小石川工高「建設技術フィルムライブラリー」、および都立田無工高「工業技術フィルムライブラリー」の協賛により、その所蔵フィルム84本を当図書館フィルムライブラリーの所蔵リス

トに加えることのご理解が成立し、会員の皆さまのご利用をお待ちしています。

#### 4. 今後の運営

以上述べたように、当委員会は土木図書館開設のための第1次整備計画の実現をほぼ完了し、引続いて図書館の定常的な整備作業と、円滑な図書館運営のための活動を行なうべく審議を進めております。

当面の計画としては、まず第一に土木図書館所蔵図書目録の編集発刊をできるだけ迅速に行なうよう、数カ月後の頒布を目標に準備を進めています。また年4回の割

で、会誌に「図書館だより」を掲載し、新規購入・寄贈図書の案内や、図書館整備に関する委員会からのお願いなどをのせて、会員の皆さまと図書館とのむすびつきを一層親密なものにしてゆきたいと考えております。

私どもは会員各位のご意見を聴取し、それらを十分反映させて今後の委員会の審議を進め、土木図書館の内容を漸次充実したものに発展させたいと念願しております。

それゆえ、委員会宛にても委員個人宛にてもまた学会担当職員あてにても結構でございますので、どうかご遠慮のない皆さまのご意見をお寄せ下さいますようお願いいたします。  
(文責・委員会幹事長 千秋信一)

### 土木図書館運営委員会

委員長 米元卓介(早大)  
委員 久野悟郎(中大)  
同 長山泰介(原研)  
同 松本順一郎(東北大)  
同 八十島義之助(東大)  
幹事長 千秋信一(電研)  
幹事 浅川美利(日大)  
同 駒田敬一(土研)  
同 佐藤吉彦(鉄研)  
同 堀井健一郎(早大)

委員 左合正雄(都立大)  
同 樋口芳朗(鉄研)  
同 三宅政光(田無工商)  
幹事 石原研而(東大)  
同 是枝忍(電研)  
同 波木守(小野田セメント)  
同 渡辺重幸(建設省)

委員 酒井清太郎(名工大)  
同 松尾新一郎(京大)  
同 森茂(コンサルタント)  
幹事 尾坂芳夫(国鉄)  
同 佐藤敦久(都立大)  
同 伯野元彦(生研)  
(幹事長、幹事は委員兼任)

土木学会担当職員

編集課長 岡本義喬

編集課(司書) 長谷川章平  
同(司書補) 西山颯香

編集課 阿部登喜男



## わが国の実情に焦点を合わせた近代土木技術!

土木工学は、戦後目覚しく進歩発展しています。

土木構造物設計シリーズは、かように発展激化しつつある土木構造物の諸分野を設計例を豊富に、理解しやすい解説で編成されたものであります。

既刊 18冊……図書目録進呈

# T 桁橋の設計 トラス橋の設計

清野 茂次・中島 五雄 共著  
A5判 210頁 定価 950円  
図表写真 209 (〒90円)

工博・田中五郎 住谷秀夫 曾川正之 共著  
A5判 360頁 定価 1,600円  
(〒150円)

### 主要目次

#### 道路編

1. 総論
2. 単純桁橋
3. ゲルバー桁橋
4. 連続桁橋
5. 設計資料

#### 鉄道編

1. 単純桁橋の設計

### 主要目次

1. トラス橋の一般
2. 床版
3. 縦げた
4. 床げた
5. 主構
6. 横構
7. 橋門構および対傾構
8. 部材の連結および添接

9. 支承
10. 伸縮装置
11. 地覆および高欄
12. 舗装および排水装置
13. 設計示方書の変遷とトラス橋の鋼重
14. 製図および積算

## 新刊



東京都千代田区神田錦町3の1 振替(東京)20018 オーム社